

令和3年度 自己評価・自己点検のまとめ

認定こども園 こもれびのもり幼稚園

当園では、日々の保育を通して、子ども達の安全と健やかな成長を見守りながら、一人一人の活動を助長することを目的とすると共に、また、サービスの充実と保育教諭のスキルアップに努めながら、自己評価と上司の評価について実施。定期的にカリキュラムマネジメントに取り組み保育の見直し、キャリアアップ研修会に参加し、一人一人の職員が自覚を持って自己研鑽に励んだ。また、職員の質の向上を図るためにチェックリストを活用し、良かった点、努力したい点、改善点などを再確認してきた。今後も地域や保護者との連携をさらに深めながら、子ども達の大切な命を預かっているという使命感を全職員が共有していけるように努力していきたい。

1. 自己評価

① 安全管理・危機管理について

8月に新園舎に移転し、安全で安心な生活がおくれるよう、園舎内や園庭の設備、点検、避難経路を確認。危機管理能力の向上に繋がるような訓練を心がけをする。様々な状況下を想定をして職員も迅速に対応できるようにしておく。

<改善策>

- ・毎月の避難訓練にて、様々な想定をしていく上で、避難経路の確認をし、より迅速に安全に避難させる方法を身に付けられようにする。

訓練後は結果について会議で話し合い、次回に活かすように取り組んで行きたい。

② 保育環境整備・安全点検について

- ・日頃から保育環境の整備を行い、安全に遊べるよう常に努めなければならない。新園舎に移転し、園庭の環境や遊具が新しくなった為、子ども達の遊び方や、事故やけがなど、想定外の事が起こりうる可能性がある為、さらに環境への細かい配慮をしながら点検を明確に行う必要がある。全職員で安全について意識を持ち、安全点検を行ってから子ども達が遊びに入るようにする。また、壊れた物をそのままし、補修、補充されないまま放置されている事もあり、いつなくなったのか、壊れたのか職員一人一人が責任を持ってきちんと対応しなければならないと思う。

<改善策>

・日々の保育の中で遊び方の約束を行い、事故やけがの未然防止に向けた取り組みを行っていきたいと思う。また、施設、整備、遊具、玩具、用具等に関する定期的な点検を怠ることなく実施し改善に努めていきたい。

③ 園内外の研修会の活用について

・職員のニーズに合わせて様々な外部研修に参加し、研修で学んできたことを、園内研修を通して全職員に伝える機会をつくるなど、日々の保育に活かせるようにする。特に外部研修には全スタッフが参加できないため、内部研修をし、全職員と学びあい、全てのスタッフがキャリアアップを目指して研鑽を積みたいと考えている。

<改善策>

・研修で学んだ事を、保育の振り返りや今後の保育実践に役立てられそうなものを取り入れていくようにする。また、職員の感想や意見を出し合い参考にしていきたいと思う。

④ 指導計画について

指導計画を見直しをし、研修の充実と自身の学びから、子ども主体の教育・保育の指導計画を立てていけるように、また立てた計画をしっかりと活用し、子どもを取り巻く人間的環境の向上に努めていく必要がある。

<改善策>

・職員間の会議を設け、日々の保育の振り返りを行い、子ども達の成長・発達に即した指導計画の立案、反省、検証をし、共通理解を図る取り組みを進めたい。また、職員会議にて指導計画について話し合いをして共通理解をしていく。

2. 自己点検分析

①危機管理

災害はもちろん、日常の保育活動中に起こりうる事故や怪我に対し、一人一人自覚しながら見守り、取り組んでいるように思うが、行事に追われた時や保育者自身の心に余裕がない時こそ細心の注意と心配が必要である。

また、小さなケガやトラブルなども保護者への連絡、スタッフ同士の申し送り、情報提供は欠かさないように共通理解を図っていく。

②職員の意識改革

・現状に満足せずに、個々が刺激し合って良い所を認め合いながら、少しでも成長しようとする気持ちを持って日々を過ごす。

また、どんなことでも職員みんなで共通理解を図り、コミュニケーションを取りながら研鑽を積んでいく毎日でありたい。

3. クレドの見直し

・園の信念をまとめた「保育クレド」は園の全てに通じるものがあり、職員全員が同じ方向を向いて歩いていく為に、必要不可欠である。年度の初めには全スタッフで読み合わせをし、心新たにスタートを迎えるようにしているが、その時その場面に応じた対応や心構えを確認していくことが大切である。それを具体化する為に、一つでも多くの事を消化しながらレベルアップを図っていきたいと考えているが現場で起こりうる現状や課題を整理し、教頭や主幹保育教諭が中心となり、その都度見直しその時々に合わせて内容の検討は今後続けて行きたいと考えている。

4.まとめて今後の展望

<園として>

- ・より一層充実を図り、教育・保育はもちろん、スタッフが色々な事に興味を持ち、成長して行けるように園内外での学びの場や体験の場を提供していく。

新型コロナウイルス感染症対策をしながらの1年だったが、それぞれの課題の改善策を実行することによって、今まで以上に保護者の信頼を得、大切な命を安心して預けたいと思えるような、園として努めていきたい。そして、子ども達が健やかに成長できるような園として、スタッフ一同、力を合わせて歩いていく事によって、今後の展望が開けていきたいと考える。

<スタッフとして>

- ・スタッフ一人一人が自分の反省点や今後への目標を掲げている。各々が自覚していることはとても大切で次へのステップを踏むことに繋がっていくと思う。自分の今に満足しては成長していく事は出来ない。常に成長し続けたいと思う。

保育教諭と言う仕事は子ども達の成長を見守るだけでなく、大切な命と向き合いこれからの社会を支えていく大切な人材の育成にもつながっている素晴らしい仕事である事をしっかりと自覚して、まずは自分自身を磨いて成長していく事がとても大切だと思う。

また、社会の中で生活していくには周りの色々な人に支えられて居る事を十分理解し、自分自身も周りを認め受け入れて歩いていく事を期待したい。まずは、認定こども園という意識を全スタッフが持って、養護と保育の一体的な提供に対し、理解を深めなくてはならない。今年度は何よりも、責任を持つという意識の重要性に強く共感した。全てにおいて、個々にしっかりと責任を持つ事によってすべての事が気持ちよく流れていく。その責任を一人一人が自覚して持てるようになって行く事が今後の発展につながっていく。

子どもも職員も全員が毎日喜んで園に来て、楽しい時間を送ることを目標にすごしていきたい、今後の展望が開いていく事になることを期待したい。